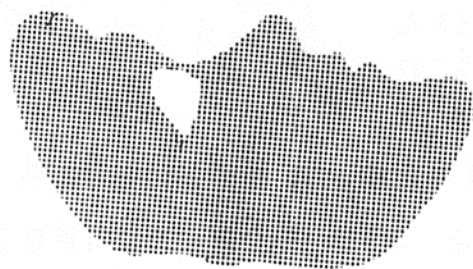


T O B U
T O B U



T O B U

百万石蝶談会

NO. 95 APRIL 1992

暖冬と越冬成虫

野中 勝

今冬はこの原稿を書いている1992年1月9日現在まで暖冬傾向が続いており、その為か成虫越冬をする蝶の冬期活動を2例観察しているので報告する。いずれもオサムシの採集を目的に富山県を訪れた際の日撃例である。

1) キタテハ 数頭 1991年12月8日 富山県高岡市守山 野中 勝

いずれも小矢部川の堤防の斜面の草地で目撃。近づくと飛び立ち、多くの場合は短い距離を飛んでは止まったが、なかには遠く飛び去る個体もあった。

2) ムラサキシジミ 1頭 1991年12月22日 富山県富山市三ノ熊 野中 勝

コナラを主体とした雑木林を低くチラチラ飛んでいた。追跡してゆくと高さ1m程の常緑樹の葉上に止まった。手で捕らえようとして近づくと気配を察して飛び立ち、そのまま見失ってしまった。

《のなか まさる 〒920-13 金沢市末町14-70-2》

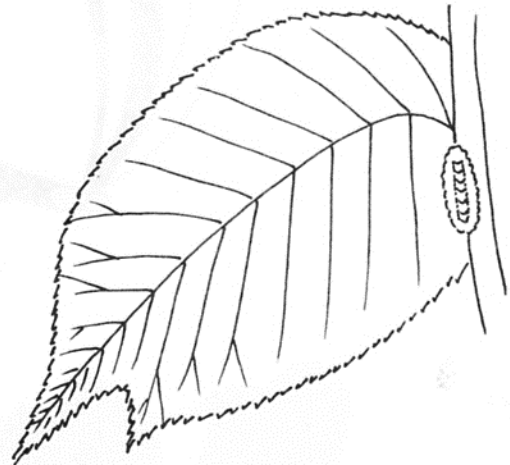
カラスシジミの終齢幼虫を観察

松井 正人

変色して蛹化間近いカラスシジミの終齢幼虫を、溪谷にある大きなオヒョウの木で発見した。幼虫は上の方から目の高さまで垂れ下がっている枝先の葉表にむきだして、枝と葉が重なっている所に、枝に沿って静止していた。

変色しているのもので、そのまま蛹化するものと思われたが、あれこれ観察しているうちに、何度も枝をゆらしたり幼虫に触ったりしたので、幼虫は動きだしてしまった。

県内におけるカラスシジミの分布は極めて薄く、成虫の記録はわずかに4例しか知られていない。記録のほとんどは卵確認によるもので、幼虫はこれまで観察例が無いように思われる。



カラスシジミ 1幼 1991年6月5日 吉野谷村中宮温泉 松井正人

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

1990年トンボ5態

嵯峨井淳郎

1 ショウジョウトンボ

7月27日、石川県石川郡白峰村白峰。白峰産のギフチョウポイントと言えはご理解頂けるだろう。林道沿いに小さな池があり、池に張り出したコナラの枝にテリトリーを張っているのを採集。子供の頃、森本（金沢市吉原町県立松陵工業高校下：現在この地はNTTの社宅が建ち、往年の池が有ったことなど知る人も無い）でよく見かけた真赤なトンボ。真性赤トンボは近年本当に見る機会が無くなったので一筆。

2 コシアキトンボ

8月15日、石川県羽咋郡押水町東間。嵯峨井家の本家庭の人造池で、1ペア採集。数量的に圧倒しているオオシオカラトンボに混じって飛翔しているのを選んで採集した。本種も子供の頃、森本（金沢市塚崎）で良く見かけたトンボである。黒色トンボであるが、胴の付け根が真っ白なので同定は簡単。

3 オオシオカラトンボ

8月16日、金沢市額谷、自宅周辺。近年気になる事にシオカラトンボとオオシオカラトンボの関係が上げられる。10数年前、家を新築してこの地に来た頃は、圧倒的にシオカラトンボが多く、曾谷あたりの少し山へ入らないとオオシオカラトンボは見られなかったが、最近では逆にオオシオカラトンボが優勢。モンシロチョウとスジグロシロチョウの関係のような、ある種の分布拡大現象なのだろうか。あまり気付かない人が多いと思うが興味深い。

4 ミヤマアカネ

9月22日、富山県小矢部市稲葉山。羽根の先端の一部が黒い赤トンボと言えは、本種の事。松井氏要請のツマグロヒョウモン調査のため出かけたところ、ノシメトンボ(コノシメトンボかも)に混じって本種の2連接が大乱舞。壮観な光景であった。

5 ○○○トンボ

7月21日、石川県石川郡河内村板尾。ミヤマカラスアゲハがネム花上に吸蜜に来るのを地上よりボンヤリ眺めていたら、キラキラ光り輝く本種2～3頭が5～6mの高さで飛翔していたので採集した。石川県産初記録の某種と狂喜して勝手に喜んでいたら、よくよく図鑑を精読してみたら、どうも違う。エゾトンボかコエゾトンボ、カラカネ色しているこれは何だろう。

番外 チョウトンボ


やはり子供の頃、森本の溜池などの周辺の高い所をヒラヒラと飛翔していた可憐な小型の黒い蝶の様なトンボ。最近では全くその姿が見られないが、チョウトンボが生息する所を知っている方がいたら、その場所をご教示下さい。

《さがい じゅんろう 〒921 金沢市額谷3-18-2》

石川県のタテハチョウ

松井 正人

石川県には、これまで迷蝶を含め32種のタテハチョウが記録されているが、最近まとめられていないようなので、データを整理しながら数回に分けて紹介したい。

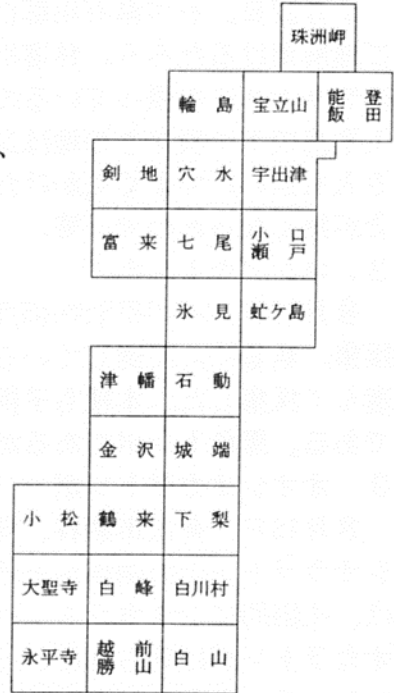
データは同産地のものでは新しいものを採用し、メッシュ分布図は石川県をカバーする国土地理院発行の5万分の1の地形図25枚をそれぞれ16等分して用い、そのメッシュ中に分布地が1カ所でもあれば、そのメッシュを「」として表した。

文献の4桁の数字については、1000番台は石川むしの会の「とっくりばち」、2000番台は百万石蝶談会の「翔」を示し、下2桁はその号数を示した。また、9000番台の文献については、最終回に一括して表示する事にした。

1 ウラギンスジヒョウモン

県内全域に広く分布すると思われるが、普通種の為か記録は少ない。

石川県をカバーする地形図



年月日	観察地	目撃	観察者	文献
1983年 9月29日	珠洲市鶴飼	目撃	竹谷宏二	2050
1991年 9月23日	珠洲市山伏山	1 ♀目撃	松井正人	
1991年 9月23日	珠洲市猫ヶ岳	1 ♀目撃	松井正人	
1987年 6月28日	富来町高爪山	1 ♂	吉村久貴	2067
1983年 9月23日	富来町大福寺	目撃	竹谷宏二	2050
1991年 7月28日	押水町宝達山頂上	1 ♀目撃	松井正人	
1971年 7月30日	金沢市医王山	1 ♀	嵯峨井淳郎	1024
1986年 9月16日	金沢市金沢城跡	1 頭目撃	古見 克	1054
1972年 8月 5日	金沢市国見山	1 頭	松井正人	
1957年 7月23日	金沢市小牛	1 ♂ 1 ♀目撃	武藤 明	1017
1972年 8月23日	金沢市三輪山	1 ♂目撃	松井正人	
1978年 9月17日	金沢市大平沢	1 頭目撃	松井正人	
1971年 7月13日	金沢市天池	2 頭	松井正人	
1971年 8月26日	金沢市湯涌河内	1 頭	松井正人	
1979年 7月 5日	金沢市栃尾	2 ♂目撃	松井正人	
1984年 9月 5日	金沢市甥杉	1 ♂	澤田 博	
1986年 7月27日	尾口村一里野スキー場	1 ♂目撃	松井正人	
1991年 7月21日	白峰村百合谷	1 ♀目撃	松井正人	
年10月 2日	小松市月津		矢田新平	9044
1977年 7月 7日	小松市瀬戸	1 ♂	中山佐一郎	9025
1983年 7月12日	小松市西俣	1 ♂	中山佐一郎	9025
年 7月14日	小松市木場		矢田新平	9044
1979年 7月 3日	小松市遊泉寺	1 ♂	中山佐一郎	9025

2 オオウラギンスジヒョウモン

県内全域に広く分布すると思われるが、普通種の為か記録は少ない。

文献

1991年 9月23日	珠洲市山伏山	2 ♀ 目撃	松井正人	
1989年10月10日	珠洲市馬渡	1 ♀ 目撃	松井正人	
1988年 9月 4日	輪島市高洲山	1 頭 目撃	松井正人	
1988年 9月 4日	輪島市宝立山	2 ♂ 1 ♀ 目撃	松井正人	
1991年10月24日	富来町久喜	1 ♀ 目撃	松井正人	
1986年 9月23日	富来町荒屋	1 ♀	松井正人	
1991年 9月29日	富来町鹿頭	1 ♂ 目撃	松井正人	
1991年 7月 6日	押水町宝達山頂上	3 ♂ 目撃	松井正人	
1989年10月 1日	津幡町上大田	1 ♀ 採集 1 ♂ 目撃	松井正人	
1972年 8月 7日	金沢市キゴ山	1 ♀	松井正人	
1971年 7月13日	金沢市医王山	1 ♂ 3 ♀	嵯峨井淳郎	1024
1978年 7月 5日	金沢市医王山重山分岐	1 ♀	吉村久貴	2001
1971年 7月13日	金沢市天池	1 頭	松井正人	
1971年 8月26日	金沢市湯涌河内	1 頭 目撃	松井正人	
1972年 8月 8日	金沢市栃尾	1 頭	松井正人	
1956年 9月 日	金沢市内川		小山千蔭・他	1003
1984年 8月21日	金沢市甥杉	1 ♂	澤田 博	
1978年 7月16日	河内村奥池	1 ♂ 2 ♀ 目撃	松井正人	2001
1978年 7月16日	河内村奥池奥三方登山口	1 ♀	松井正人	
1972年 7月22日	吉野谷村湯谷頭	1 頭	松井正人	
1990年 7月 8日	白峰村大杉谷	1 ♂ 目撃	松井正人	
1983年 8月 8日	白峰村白山釈迦林道	3 ♀	吉岡 泉	2044
1972年 7月31日	白峰村白山六万山	1 頭 目撃	松井正人	
1991年 7月21日	白峰村百合谷	2 ♂ 2 ♀ 目撃	松井正人	
1976年 7月 1日	小松市井ノ口	1 頭	小坂 巖	9104
1981年 7月22日	小松市花立	1 ♂	中山佐一郎	9104
1981年 7月22日	小松市丸山	1 ♂	中山佐一郎	9104
1978年 9月22日	小松市原	1 ♀	中山佐一郎	9024
1978年 6月30日	小松市江指	1 ♂	中山佐一郎	9104
1978年10月 7日	小松市三谷	1 ♀	中山佐一郎	9024
1978年 6月30日	小松市上り江	1 ♂	中山佐一郎	9024
1978年 9月10日	小松市新保	1 ♂	中山佐一郎	9024
1981年 7月24日	小松市新保出	1 ♂	中山佐一郎	9104
1977年 7月18日	小松市瀬頭	1 ♂	中山佐一郎	9024
1980年 9月14日	小松市西俣	1 ♀	中山佐一郎	9024
1977年 9月 6日	小松市大杉上	1 頭	中山佐一郎	9024
1978年 7月13日	小松市大杉中	1 ♂ 1 ♀	中山佐一郎	9024
1982年 7月 2日	小松市中ノ峠	1 ♂	中山佐一郎	9104
1979年 7月17日	小松市長谷	1 ♂	中山佐一郎	9024
1979年 7月 8日	小松市東山	1 ♂	中山佐一郎	9024
1978年 6月30日	小松市波佐谷	1 ♂ 1 ♀	中山佐一郎	9024
1980年 7月 2日	小松市木場	2 ♂	中山佐一郎	9024
1986年 9月15日	小松市遊泉寺	1 ♀	中山佐一郎	9105
1984年 7月 1日	小松市里川	1 ♂	辻 栄治	9104
1980年 9月16日	小松市蓮代寺	1 ♂	中山佐一郎	9024
1978年10月 8日	加賀市橋立	2 頭 目撃	松井正人	

3 メスグロヒョウモン

加賀地方には少なく能登地方では普通に見られる。夏季は直ぐ夏眠に入るのか余り見られず、秋になって良く見られるようになる。

文献

1978年10月 1日	珠洲市塩津須須神社	2 ♀	松井正人	
1991年 9月23日	珠洲市山伏山	2 ♀採集 3 ♂ 1 ♀	松井正人	
1988年 9月 4日	輪島市宝立山	2 ♂目撃	松井正人	
1989年 5月27日	輪島市繩又	1 ♂目撃	松井正人	
1991年 6月 8日	穴水町甲円山	1 ♂目撃	松井正人	
1985年 6月14日	門前町滝川	2 ♂	松井正人	
1990年 9月 9日	七尾市城山	1 ♂	松井正人	
1991年 9月29日	富来町広地	1 ♀目撃	松井正人	
1987年 9月27日	富来町荒屋	1 ♀目撃	松井正人	
1991年 9月29日	富来町高爪山	4 ♂ 2 ♀目撃	松井正人	
1983年 9月23日	富来町大福寺	5 ♀目撃	竹谷宏二	2050
1991年10月12日	羽咋市大	1 ♀目撃	松井正人	
1991年 7月28日	押水町宝達山頂上	1 ♂目撃	松井正人	
1971年 7月30日	金沢市医王山	1 ♀	嵯峨井淳郎	1024
1956年 9月 日	金沢市別所黒壁		小山千蔭・他	1003
1953年10月 1日	鳥越村釜清水	1 頭	駒沢照国	9104
1980年 6月27日	辰口町仏大寺	1 ♂	中山佐一郎	9024
1978年 9月22日	小松市原	1 ♀	中山佐一郎	9024
1963年 7月 日	小松市松岡	1 頭	中山佐一郎	9104
1978年10月 6日	小松市那谷	1 ♀	中山佐一郎	9024
1980年 9月14日	小松市麻島	1 ♂	中山佐一郎	9024
1983年10月10日	小松市木場	1 ♀	中山佐一郎	9104
1980年 9月17日	小松市遊泉寺	1 ♀	中山佐一郎	9024

4 クモガタヒョウモン

県内全域に広く分布すると思われるが、普通種の為か記録は少ない。

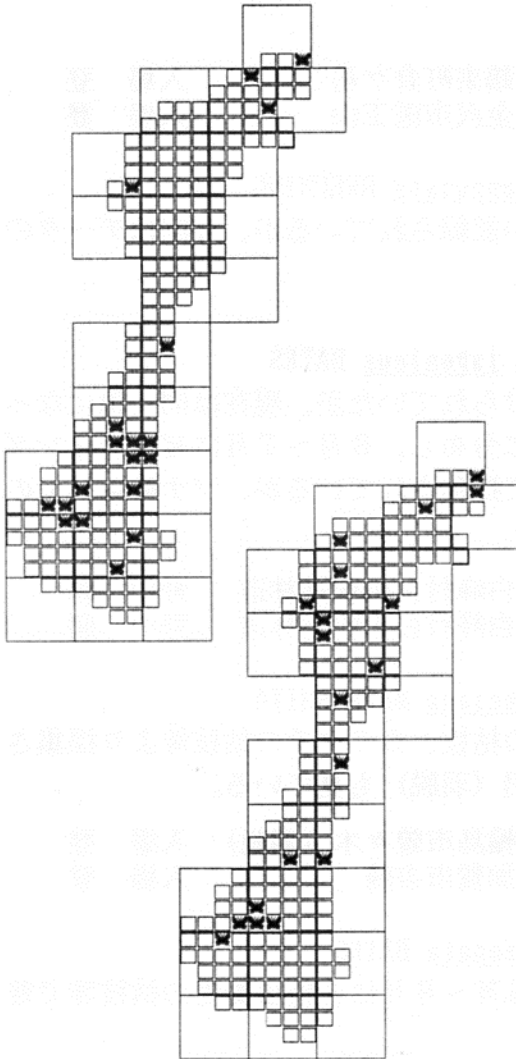
文献

1989年10月10日	珠洲市山伏山	1 ♂目撃	松井正人	
1989年10月10日	珠洲市馬渡	1 ♂目撃	松井正人	
1991年 9月23日	輪島市高洲山	1 ♂目撃	松井正人	
1991年 6月 8日	穴水町別所岳頂上	2 ♂ 2 ♀目撃	松井正人	
1991年 9月29日	富来町高爪山	4 ♂目撃	松井正人	
1985年 6月14日	志賀町神田	1 ♂目撃	松井正人	
1990年10月 7日	押水町竹生野	1 ♀目撃	松井正人	
1990年 9月 8日	押水町宝達山ピーク	1 ♂目撃	松井正人	
1985年 6月23日	津幡町菩提寺	2 頭目撃	松井正人	
1978年 6月13日	金沢市キゴ山	1 ♂	吉村久貴	2001
1978年 6月27日	金沢市医王の里	1 ♂	吉村久貴	2001
1970年 6月 7日	金沢市医王山	7 頭	松井正人	
1961年 6月 2日	金沢市医王山小学校付近	♂	桜井正喜	9052
1978年 6月 2日	金沢市駒場	2 ♂	松本和馬	2001
1971年 5月30日	金沢市熊走	1 頭	松井正人	
1978年 6月12日	金沢市小原	1 頭目撃	松井正人	
1991年 6月 8日	金沢市倉ヶ岳	目撃	野中 勝	
1972年 6月 2日	金沢市大平沢	数頭目撃	松井正人	

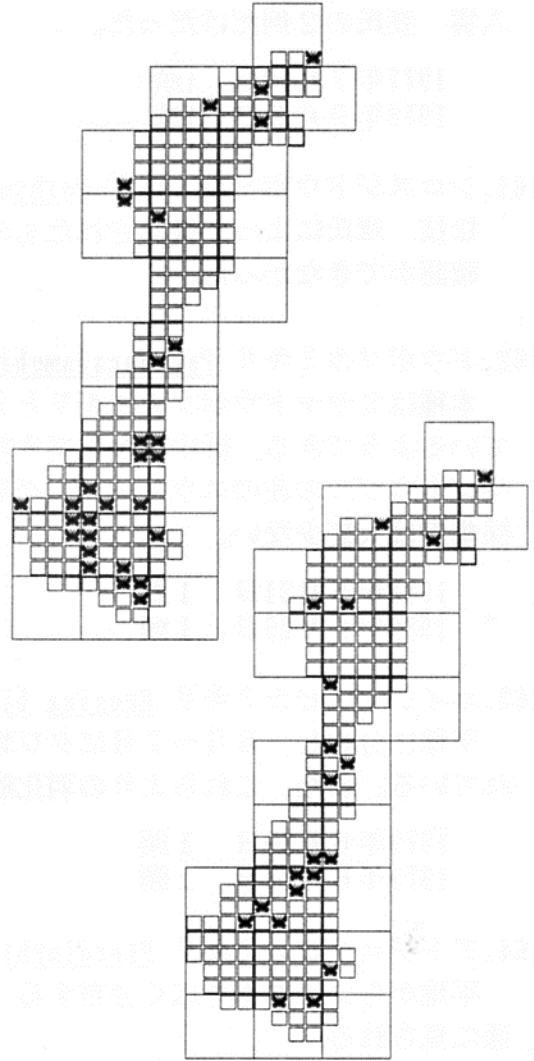
文献

1971年 8月19日	金沢市堂	1頭	松井正人	
1972年 6月18日	金沢市平等本	1頭	松井正人	
1953年 7月18日	尾口村岩間		北浦亀松	9108
1953年 6月17日	白峰村堂森		北浦亀松	9108
1980年 7月13日	白峰村白山釈迦林道	1♂ 1♀	吉村久貴	
1980年 9月30日	辰口町仏大寺	3♂	中山佐一郎	9024
1983年 5月26日	小松市岩淵	2♂	中山佐一郎	9104
1985年 5月31日	小松市原		中山佐一郎	9027
1980年10月12日	小松市江指	1♀	中山佐一郎	9024
1982年 5月23日	小松市中ノ峠	1♂	中山佐一郎	9104
1983年10月10日	小松市木場	1♀	中山佐一郎	9104

1.ウラギンスジヒョウモン



2.オウラギンスジヒョウモン



3.メスグロヒョウモン

4.クモガタヒョウモン

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県のカミキリムシ科 (その9)

井村正行

159. タテジマカミキリ Aulaconotus pachypezoides THOMSON

金沢市内でカクレミノの栽培木に発生した本種が数頭、入場 登氏によって採集された記録が1例あるのみ。同氏によれば、そのカクレミノの木は本種の食害によって枯れてしまったとのことである。

1986年8月21日 2頭 金沢市小坂小学校校下 入場 登

160. ハスオビヒゲナガカミキリ Cleptomtopus bimaculatus BATES

県内における本種の採集例は大変少なく、筆者が確認できたのは、入場 登氏の2例だけだった。

1977年7月19日 1頭 鶴来町倉ヶ岳 入場 登
1978年9月9日 1頭 金沢市医王山 入場 登

161. シロスジドウボソカミキリ Pothyne annulata BREUNING

松枝 章氏によって採集されたものが記録されているが、今回はデータの確認ができなかった。

162. ドウボソカミキリ Pseudocalamobius japonicus BATES

本種はミヤマドウボソカミキリと分けられていたが、現在は同一種になっているようである。低山帯からブナ帯に分布し、6月～7月にビーティングやゴトウヅルの花のスウィーピング等で採集されているが、ブナ帯以外での採集例は大変少ない。

1983年5月21日 1頭 白峰村白山釈迦林道 野中 勝
1989年6月25日 1頭 白峰村白山釈迦林道 野中 勝

163. ニイジマチビカミキリ Egesina bifasciana MATSUSHITA

平地に分布し、6月～7月にクワ類の枯枝、カラタチの枯枝等より採集されている。また、これらよりの羽化脱出(羽脱)も見ている。

1979年6月20日 1頭 輪島市曾々木(羽脱) 入場 登
1979年6月28日 1頭 加賀市吉崎 入場 登

164. アトジロサビカミキリ Pterolophia zonata BATES

平地からブナ帯まで広く分布する。5月～8月に各種広葉樹の枯枝等で普通に見られる。

1979年6月15日 1♀ 加賀市吉崎 井村正行
1979年6月19日 1♂ 金沢市倉ヶ岳 井村正行

165. クリサビカミキリ Pterolophia castaneivora OHBAYASHI et HAYASHI

低山帯からブナ帯まで分布し、4月～7月頃に各種広葉樹の枯枝等に見られるが、個体数は少ない。

1976年6月19日	1♂	金沢市倉ヶ岳	入場 登
1989年6月18日	2♀	白峰村大杉谷	野中 勝

166. ヒメナガサビカミキリ Pterolophia leiopodina BATES

平地からブナ帯まで広く分布し、5月～8月に各種広葉樹の枯枝より採集される。特にエノキ、ケヤキ、フジ等には好んで集まるようで、これらの枯枝からの羽脱も見ている。普通種。

1979年5月22～24日	多数羽脱(フジ)	加賀市吉崎	井村正行
1991年5月5～15日	多数羽脱(エノキ)	金沢市内川ダム	井村正行

167. エゾサビカミキリ Pterolophia tsurugiana MATSUSHITA

低山帯からブナ帯に分布し、5月～8月に各種広葉樹の枯枝等で普通に見られる。

1979年7月8日	1♀	白峰村白山釈迦林道	井村正行
1981年6月30日	多数	金沢市医王山	井村正行

168. マルモンサビカミキリ Pterolophia angusta BATES

平地から低山帯に分布し、5月～8月にニセアカシア、ネム等のマメ科の枯枝に集まる。これらマメ科からの羽脱も見ている。特に海岸部に多く見られる普通種。

1979年7月3日	多数	金沢市粟崎	井村正行
1981年6月27日	3頭	金沢市佐寄森	井村正行

169. アトモンサビカミキリ Pterolophia granulata MOTSCHULSKY

平地からブナ帯まで広く分布し、3月～8月に各種広葉樹の枯枝等で普通に見られる。

1979年5月18日	多数	金沢市倉ヶ岳	井村正行
1979年6月7日	1♀	金沢市角間	井村正行

170. トガリシロオビサビカミキリ Pterolophia caudata BATES

平地からブナ帯まで広く分布し、5月～8月に各種広葉樹の枯枝で普通に見られる。特にフジ、オニグルミに多く、これらからの羽脱も見ている。

1979年7月17日	1♀	白峰村白山釈迦林道	井村正行
1985年6月29日	1♂	加賀市吉崎	井村正行

171. ナカジロサビカミキリ Pterolophia jugosa BATES

低山帯からブナ帯に分布し、5月～8月に各種広葉樹の枯枝に集まる。特にオニグルミに多く見られるが、個体数は多くない。

1976年4月16日	1頭	金沢市三小牛山	入場 登
1980年7月13日	1♂	白峰村白山釈迦林道	野中 勝

172. ワモンサビカミキリ Pterolophia annulata CHEVROLAT

平地から低山帯に分布し、4月～7月に見られ、フジ、エンジュ?等のマメ科の比較的新しい枯枝に見られる。特に春はフジの枯枝に多い。

1990年7月28日	1♂1♀	金沢市専光寺	井村正行
1991年5月30日	1♂1♀	金沢市宝	野中 勝

173. クワサビカミキリ Mesosella simiola BATES

低山帯に分布し、6月～8月にかけて各種広葉樹の枯枝に見られると言うが、個体数は多くない。

1978年7月1日	1♂	金沢市倉ヶ岳	入場 登
1987年6月14日	1♀	金沢市倉ヶ岳	入場 登

174. ハイイロヤハズカミキリ Niphona furcata BATES

県内には広く平地から低山帯に分布し、冬期間にメダケ等の枯材より新成虫を割り出している事から、野外での発生は、4月～6月頃と思われる。個体数はやや少ない。また余談ではあるが、枯材は古い方が良く、新しいものには幼虫しか入っていない。

1978年12月24日	1♂(蛹虫)	羽咋市妙成寺	井村正行
1985年3月10日	1♂3♀(蛹虫)	能登島町島別所	松井正人

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

0	短 報	26	0
ギフチョウ			
1992年3月14日	小松市遊泉寺	2♂1♀	松井正人
1992年3月20日	金沢市窪	1頭目撃	竹谷宏二
1992年3月28日	金沢市二俣	3♂目撃	松井正人
1992年3月28日	金沢市平栗	1頭目撃	竹谷宏二
0			0

会員の動き。しゃばの動き

●観測史上最も早く梅が開花！

1月28日金沢気象台標準木の梅が開花。これは平年より42日、これまで最も早かった年より16日も早い。このまま桜につながれば、ギフも早くなる。

●1月29日新年会 香林坊は新装の「むら井」で賑々しく行われる。新旧多彩な顔ぶれがそろい、話題には事欠かず、最近流行のゲンゴロウで大いに盛り上がった。参加は15名。

●蝶類年鑑1991発売 1990年の蝶類文献はこれ1冊に網羅されていて大変便利。蝶談会は蝶研出版より1987、1988、1990と全て寄贈を受けている。

●2月8日上田氏、粟島に上陸 単身、粟島に乗り込んだ氏は、密かにゲンゴロウセットを携行したものの結局使えず、成果はマイマイのみに終わった。

●ゲンゴロウチーム河北潟を掘る 「河北潟でゲンゴロウを見た」との情報を得て、野中、中西、井村の少々加熱ぎみの病人は、2月9日に河北潟へ向かった。

●ギフチョウ発生秒読み開始？ 2月28日は大快晴、27日には春一番も吹き荒れ春が到来。最高気温も何と16.4度。これは4月中旬の気温とかで、ギフチョウも発生間近。

●雨だと言うのにゴミムシ漁り！ 3月1日野中、上田の2氏、片山津辺りで、ゴミムシを掘る。春間近とは言うものの、まだまだ春の雨は冷たかった。

●ゲンゴロウを採るにはこれが1番 中西流：φ50cmの砂利採取用のザルに細かいメッシュの金網を被せ、モップの柄を取り付けたもの。絶対曲がらない最強の武器で、力さえ有れば何でもすくえる。

井村流：養殖ハマチをすくい上げるゴツイ網。大きいためか人目に付きやすく、野次馬が集まってくる。

松井流：脱衣籠。口径も大きくメッシュも大きいことから、大物狙いはこれが1番。ただし小物は採れない。

上田流：片手サイズの魚の網。漁商組合で購入。水圧が小さいことから、長期戦で数をこなすには大変有利。

野中流：素手。網を使わないこの方法は、体力もいらない究極の採集法だが、誰も採れないときは取れない。

●ついにゲンゴロウを発見！ 冬期間の水中オサ掘りで知られるゲンゴロウグループは、3月8日医王山の溜池でゲンゴロウ多数を発見した。ゲンゴロウは、開けた環境のちよいと濁った小さな池を好むとか。

●3月14日1番ギフ発見 ついにギフチョウの初見が出た。ギフの顔を見ないことには1年が始まらないのは蝶屋の性でしょうか。とにかく春はギフを見るまで落ち着きません。

●シャープとゲンゴロウが同じ池に 大型のゲンゴロウ類を次々と発見しているゲンゴロウグループは、調査範囲を能登へと広げ、3月15日には奥能登各地で、同じ池からシャープゲンゴロウモドキとゲンゴロウを発見した。

3月20日ギフチョウ乱舞!
 松田氏、小松は遊泉寺にて、丸1日どっぷりギフチョウ漬け。寒気団の接近で肌寒さは感じられたものの、春の舞姫たちは、踊り回るのだった。

3月20日嵯峨井氏、休日出勤!
 晴れ渡った空を仰ぐと、ますます顔は曇るのだった。

3月21日金沢は銀世界 彼岸の戻り寒波で朝から降雪。午後3時までに市の中心部で6cmを記録。気温も3.7度までしか上がらなかった。

クロゲンゴロウ発見! 能登の次は加賀を目指したゲンチャンチーム、加賀市では全くのスカだったものの、小松、辰口では松田氏の協力を得た結果、クロゲンゴロウ多数を確認した。

指田氏、金津町へギフチョウ捜し
 3月22日の福井県金津町は、まあまあの天候だったものの、前日に降った雪が所々に残り肌寒く、ギフはまだの様だった。

例会の記録

2月7日(金)城南管工2Fにて8時より開催。翔の委託販売について、1年前からコンタクトをとっているTTSからは何の返答も無いが、とにかく94号から毎号10冊をTTSへ送付する(強引に委託販売を押しつける)事になった。また、1991年の「10大ニュースの決定」はとりやめと決定。話題は水性昆虫一色で、ゲンゴロウ例会となった。
 参加は、井村、近藤、中西、松井、野中、指田、嵯峨井の7人。

目 次

野中 勝:暖冬と越冬成虫	1
松井正人:カラスシジミの終齢幼虫を観察	1
嵯峨井淳郎:1990年トンボ5態	2
松井正人:石川県のタテハチョウ	3
井村正行:石川県のカミキリムシ科(その9)	7
編集部:会員の動き・しゃばの動き	10
編集部:例会の記録	11

とぶ NO.95

1992年4月10日発行

〒920-01 金沢市大場町東871-15 松井方
 百万石蝶談会
 ☎ 0762-58-2727
 振替 金沢5-562

印刷 小西紙店印刷所